

令和3年度第2回千葉県慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策部会（R3.12.16開催）
議事要旨

【議題（1）①CKD対策協力医の養成・活用の促進について】

CKD対策に取り組む市町村は22市町村、CKD対策協力医への受診勧奨を実施しているのは4市町村であり、市町村の取り組みが十分に進んでいない状況である。

この状況を踏まえ、市町村への働きかけを継続するとともに、CKD対策協力医のモチベーション維持及びCKDに関する継続的な学習の機会を提供するため、CKD対策協力医を対象とした研修会の開催を検討している。

- ・研修会については、役割分担（主催者、研修準備、当日の進行等）、講義内容、講師、周知方法、費用面、スケジュール等について検討が必要。
- ・千葉県医師会と県の共催という形で開催を検討する。また、製薬メーカーの協力を得ることも一つの方法である。
- ・令和3年度に内容を検討し、令和4年度から毎年実施していく予定で準備を進める。
- ・実際の事例をケーススタディしたいという希望があり、内容に加える。
- ・講義の内容や講師は腎臓専門医で検討する。

【議題（1）②検査のワンチェックオーダーについて】

県内の主な検査会社8社に対して調査を実施し、全ての検査会社でワンチェックオーダーの対応が可能であることが確認された。また、糖尿病対策推進会議において、県内のほとんどの検査会社において、血中クレアチニンと一緒にeGFRを算出している状況を確認した。

これらの結果を千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会に報告し、検討会において今後の方針を検討していくこととなった。

- ・尿蛋白/クレアチニン比の項目を作ることで、50円ほどかかりつけ医の持ち出しとなる。
- ・尿蛋白/クレアチニン比の項目について、スムーズに追加してくれる検査会社と、契約している医師側から要望がないと追加しない検査会社に分かれることが想定される。

【議題（1）③県民への周知啓発について】

県民への周知啓発を図るため、CKDに関するリーフレットを作成・配付するとともに、動画及びQ&Aを作成し千葉県ホームページ上に掲載する。

いずれも、今年度中の作成を目指し、準備を進めていく。

- ・リーフレットは、市町村や健診機関、病院、薬局、バス、駅構内等への配付を検討。
CKDの原因や生活習慣上の注意点などを修正し、再度委員へ照会する。（1/4照会済）
- ・動画は自前で作成し、千葉県の公式YouTubeチャンネルで公開する。講師は部会委員が担う。CKDの早期発見の大切さ、健康診断の重要性、健診で異常を指摘された際の対応、腎臓を守るためにはどうしたらよいか、などをテーマとする。数年に分けて作成し、今年度は2～3本程度の作成を目指す。
- ・Q&Aについても、今年度中の作成・掲載を目指す。

【議題（2）その他】

- ・資料6「CKD対策協力医に係る千葉県ホームページへの掲載及びメーリングリストの利用決議について」了承された。